

医師の研修について

トリ君、相談があるそうだね

胸壁外科医・永竿智久教授

医学生トリ

東京で研修するか地方がいいか迷っているんです

ぼくは、地方での研修を勧めるね

どうしてですか？

たしかに、東京の生活は快適だ

イベントは
しおりゅうやっているし

友人とも
会いやすい

だから、若者たちが集まるのはわかる

東京

でもそれは、
ベテランの医師に
とっても同じだよね

東京

子供の教育にも
東京は有利だ



だからベテランの医師は
自分のポジションを
守ろうとする



手術も、若い医師には
やらせようとしてない



その点、地方だと…



君、見て来てくれる？



手術もたくさんできるから、
実力がつく



仕事をよく任せられる

地方の生活を
嫌う研修医は多いけど…



損してると、ぼくは
思うねー



でも先生の出た
慶應は東京ですよね



そーだよ

都会的な
雰囲気は
かくせないね

じつは山口県出身

でもぼくは、20代は
ずっと地方で修行したよ



ようするに
飛ばされてたん
ですね

生意氣だったん
でしょー

おかげで
たくさん手術を
やりました

イエーイ

地方の生活も楽しいですよ

アハハ

皮肉が通じない…

といいつつ
東京に
戻ってきましたね



はい、ぼくは外国人と
相性がいいので

国際学会をやるから
大学に戻ってくれ

と、30代の半ばのとき
当時の教授にいわれました

周辺との
あつれきは
なかったのですか？

もちろん
ありましたよ



おれの仕事を
取るな！

と、よく先輩に
言われましたねー



だから、だれもやってなかつた
「あばら」の形を治す手術を
始めたんだ



おかげで、その手術が
得意になつたよ

Yeah!



ずぶとい…

慶應大学では呼吸器外科の
わかい先生たちに、手術を教えました



その後、香川県の
国立大学に、教授として赴任しました。



でも今は、大阪の
ど真ん中で手術を
やってますよねー



東京や関西の患者さんが
多いからねー

ようするに、
地方→都会→地方→都會
と移ったわけですね

そうだよ



いそがしい奴
やのー

結論として、
こういうのがいいと、
ぼくは思うねー



うまく、まとめやがった

若い時は
地方で修行



ニーズに応じて
都会で勤務

